

## 「宗門寺院と戦争・平和問題」調査の開始

—寺院の戦争記憶・記録を次代へ—

新田光子 (戦時被災等調査委員会委員)  
〔戦時調査室〕調査担当

「宗門寺院と戦争・平和問題」調査は、本年4月、宗門全寺院を対象とした郵送調査の実施から開始させていただきました。新型コロナウイルス感染拡大の時期にもかかわらず、4千近い寺院からご回答、ご返送いただきました。ありがとうございました。

調査票のご回答にあわせて、各寺院ご所蔵の戦争・平和関係の資料(文書、墓碑・記念碑・遺跡などの写真・関係資料)のご提供をお願いいたしましたところ、数多くの寺院から貴重な資料をお送りいただきました。大変感謝いたしております。郵送調査票は、5月末を返送期限とさせていただきますが、今後は、ご回答いただきました調査票をもとに、より詳しい情報や資料のご提供をお願いいたしたいと思います。宗門内で、できるだけ多くの戦時被災等情報・資料を共有いたしたく思いますので、本調査に引き続き、より一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

郵送調査票は、現在回答集計作業をお

こなっております。集計結果につきましては、できるだけ早く詳細をご報告できるように努力いたします。

ここでは、お送りいただいた資料のなかから、「寺院の戦争記憶と記録を次代へ」という今回の調査のテーマに合った寺院活動を紹介させていただこうと思います。紙面の関係で、とくに印象深い3か寺をとりあげさせていただきます。

※ ※ ※

山口教区岩国組養専寺(住職、元浄公昭師)からは、回答調査票とともに最新の寺報2020年4月10日号「養専寺お知らせ版」をお寄せいただきました(資料1)。「新型コロナウイルス予防措置」をとって5月・6月に予定していた寺院行事すべてを中止するなかで「空爆犠牲者追悼法要」は、予定通り勤修するという案内でした。

米軍による空襲は1945(昭和20)年5月10日のことで、寺院近くの陸軍燃料廠を攻撃し、犠牲者は約400人にのぼり

(新型コロナウイルス予防指)

**五月・六月の行事は中止します**

【葬法】「法要」「法講」  
 【葬式】「葬式」「葬式」  
 【おまじり】「十六日講」「日曜学校」等  
 (マスク着用の上、参拝下さい)  
 【陸軍燃料廠空襲犠牲者】追悼法要  
 五月 十日(日) 十時より  
 養専寺本堂 迄 追悼碑前にて

【降誕会法座】お初めだけ  
 五月十一日(月) 十三時半(正信儀)

なお、七月以降の行事につきましては、  
 新型コロナウイルスの影響を見極め、判断いたします。

お盆の参拝について  
 現時点では予定通り計画しております。マスクの着用、  
 消毒、湯洗、お互いに安全対策としての参拝と  
 なります。今後、状況によっては、お盆参拝者のひび、等  
 丁寧な対応を相談いたします。





陸軍燃料廠 戦没者追悼碑  
 昭和二十年五月十日、米軍による空襲を受け、約四百人が亡くなる中、戦後には約四百人が亡くなる中、早くも現れた。養専寺では毎年五月十日十時より開催しております。

養専寺境内

資料1 「養専寺お知らせ版」  
山口教区岩国組養専寺提供

安芸教区佐伯東組光

※ ※ ※

事となり『中国新聞』  
 2018年5月26日「洗心欄」、地域で広く情報が共有されました。さらに今年8月には、日曜学校での「学びの継承」が山口放送局番組「平和について」で紹介されます。

光禪寺は広島市西郊に位置し、原爆が広島に投下されたときには大勢の被爆した人・怪我人が寺院に避難しました。避難者の救護所となった同寺院では多くの人が亡くなり、しばらくは埋葬し追悼することが寺院の主要な活動となりました。

光禪寺納骨堂は原爆後に建立され、以

ました。終戦直後に、この空襲犠牲者を追悼する石碑が養専寺境内に建てられました。以来毎年欠かさず空襲の日、5月10日に本堂および追悼碑前で法要が営まれてきました。

今年は新型コロナウイルスの影響で実施も危ぶまれたようですが、当日は例年通り空襲開始時間の9時45分にあわせて梵鐘を撞き10時より法要が開始されました。阿弥陀経が唱えられる中、被災者家族を含め7名の参拝者が焼香しました。

以前は満堂の参拝者(約150名)で賑わった一方、今年は新型コロナウイルスの影響で参拝予定であった被災者ご本人あるいは犠牲者ご遺族の参拝もなかったようですが、法要が勤修された意味は大変大きいと思われれます。

この空襲や追悼法要については、養専寺日曜学校で子どもたちが学びを深めています。これは、本願寺派ホームページ「地域での活動レポート」でとりあげられています。また地方紙でも紹介記



資料2 納骨堂 安芸教区佐伯東組光禪寺提供

来今日まで大切に保存されてきました

(資料2)。この納骨堂に納められた骨つぼは原爆犠牲者だけでなく、日清戦争戦死者の骨つぼも納められています。今年、これら骨つぼに、名前を書き入れる作業が門徒などの手で取り組まれています。この作業の様子は最近「骨つぼに記す422人の名」「被爆75年 門徒が作業戦争の記憶継承願う」として新聞で報道されました(『中国新聞』2020年6月8日号)。

同新聞紙上では、原爆死したマレーシアからの広島文理大(現広島大)「南方特別留学生」ニック・ユソフさんのお墓も紹介されました。ユソフさんの遺骨が光禅寺に納められたことをきっかけに、同寺院は境内墓地にイスラム教式の墓を建立しました。このお墓には毎年夏に広島大学関係者がおまいりし、法要が営まれています。昨年10月には、マレーシア訪問団のおまいりが実現しました。

お墓や追悼法要を通じて、今年も地域社会や関係国とのつながりを深めています。

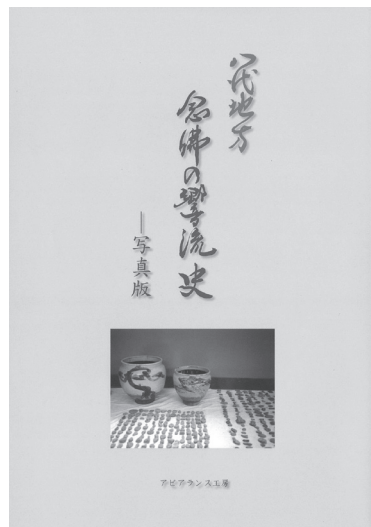
※ ※ ※

熊本教区八代組西福寺(住職、山本隆英師)からは、郵送調査開始早々の5月はじめに調査票が返送され、明治時代の戦争関係資料など100点以上が同封されて届きました。

『八代地方 念仏の響流史―写真版』(熊本教区八代組、2009年発行)も、そのひとつでした。熊本教区八代組でまとめられた貴重な戦争資料です。(資料3)

西福寺主催「全戦没者追悼法要」は、「太平洋戦争」25回忌、33回忌、50回忌、65回忌、そして70回忌と、大きな区切りの時期に合わせて勤修されてきました。「50回忌」の追悼法要は、「日清戦争100回忌」法要と位置づけられていました。

同寺が中心となってまとめられた「戦没者名簿」は、「西南戦争」、「日清戦争」、「日露戦争」、そして「十五年戦争」と各戦争別に記載された145人の名前が並んで



資料3 『八代地方 念仏の響流史―写真版』熊本教区八代組西福寺・同組、光圓寺提供

います。そこには戦死者の門信徒だけではなく、空襲犠牲者あるいは外地からの引揚中亡くなった門信徒名も刻まれています。

法要勤修や名簿作成、あるいは戦争展示会は、「鮎婦の戦争を記録する会」が結成されてすすめられています。こうした情報は、西福寺住職、山本隆英師から5月、6月と重ねて連絡をいただきましたが、7月に入って熊本地方は「令和2年7月豪雨災害」にみまわれ、甚大な被害が生じました。心からお見舞い申し上げます。





資料4 梵鐘・仏具供出



資料5 学童疎開・戦後、寺院におまいり

これら3か寺以外の多くの寺院から調査票の質問に回答するかたちで、さまざまな資料をお送りいただきました。調査票（後掲）関係資料としては、「質問19」・「質問20」に関しては、「梵鐘」・「仏具」供出時の写真資料をお送りいただきました。

た。（資料4）「質問24」に関する「学童疎開受け入れ」、あるいは「戦後、疎開児童の寺院訪問」では、写真（資料5）など、数多くの資料をお送りいただきました。

このたびの調査は、戦争と平和という視点から、各寺院の歴史的事実を記録にとどめるということを目的にしております。調査結果は、適宜『宗報』に掲載させていただきます。宗門内外における情報共有の機会とさせていただきます。

戦時調査室に、関係資料・情報をどうぞお寄せください。

【戦時調査室】

開室時間：火・水・木 10時～12時、13時

～16時（宗務所休日は除く）

〒600-8349 京都市下京区堺町92

浄土真宗本願寺派総合研究所内

「戦時調査室」

Tel/075-354-5087 Fax/075-354-5360

Mail/ senji-chousa@hongwanji.or.jp

「宗門寺院と戦争・平和問題」調査票（一部抜粋）

19. 日中戦争のころから金属品回収がはじまり、昭和17年の金属回収令により、梵鐘や仏具などが強制的に供出させられるようになりました。貴寺院の梵鐘について状況をお教えてください。
1. 梵鐘を供出した
  2. 梵鐘を供出したが戦後戻ってきた
  3. 梵鐘は供出していない
  4. もともと梵鐘はなかった
  5. 創設以前のこと
20. 仏具など金属品の供出については、どうでしょうか。
1. 仏具など供出した → 主なものは何でしたでしょうか
  2. 供出したが戦後戻ってきた → それは何でしたでしょうか
  3. 供出していない
  4. 創設以前のこと
24. 貴寺院は、「学童疎開」の受け入れ先になりましたか。
1. なった
  2. ならなかった
  3. 創設以前のこと

疎開児童の世話をするなかで、一番大変だったのはなんだったと言われて  
いますか。

具体的にお教えてください。

疎開校・疎開児童とは戦後も交流がありましたか。

疎開の思い出にふれた文集・パンフレットが作られていませんか。

ありましたら具体的にお教えてください。